情報コーナー

徳島県立近代美術館

特別展「大久保英治：辺境の作家 1973-2024」

現代美術家・大久保英治（1944 ～）の 50 年あまりにわたる活動を、ドローイング、絵画、オブジェ、インスタレーション、コラージュ、版画などにより紹介します。四国八十八カ所を歩いて多くの作品を制作したプロジェクト（1998-99 年）や、日本と韓国を舞台としたユーラシア・アートプロジェクト（1999-2001 年）など、日本を代表するランド・アートの作家として知られてきました。しかし、大久保の活動はそこにはとどまりません。本展では、これまで公開されることがほとんどなかった初期作品から新作までをたどり、「時間」「自然」「歴史」「場所」などの観点から、大久保英治の制作を貫く本質に迫ります。

会　期：7 月 13 日（土）～ 9 月 23 日（月・振休）
時　間：9：30 ～ 17：00
休館日：月曜日（7 月 15 日、8 月 12 日、9 月 16 日、
　　9 月 23 日を除く）、7 月 16 日（火）、9 月 17 日（火）
観覧料：一般 800（640）円
　　高・大生 600（480）円
　　小・中生 400（320）円
＊（　　）内は 20 名以上の団体料金。
＊身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等をご提示いただいた方とその介助者 1 名、未就学児はそれぞれ無料。
＊小・中・高生は、土・日・祝日・振替休日、学校の夏休み期間は無料。
＊ 65 歳以上の方で証明できるものをご提示いただいた方は半額。
＊特別展の観覧券で所蔵作品展もご覧いただけます。
主　催：徳島県立近代美術館
後　援：徳島新聞社、四国放送株式会社、エフエム徳島、
　　（公財）徳島県文化振興財団
助　成：芸術文化振興基金助成事業

大久保英治〈支〉2023 年　作家蔵
（高取町、市尾墓山古墳にて）
※本作品は写真パネルのみの出品となります。

〒 770-8070　徳島市八万町向寺山　文化の森総合公園
☎ 088-668-1088（徳島県立近代美術館）

大鳴門橋架橋記念館

魅力、うず巻く、橋と渦潮のミュージアム！

当館は、鳴門のうず潮や大鳴門橋について、遊びながら学べる体験型のミュージアムです。

実物大の模型で紹介する「大鳴門橋のしくみ」、身体の動きや音に反応するデジタルアート空間「Play the Eddy!」、大鳴門橋の主塔（海面上約 144m）の高さから鳴門海峡を一望できる「VR 観光体験とくしま Trip」などの展示があり、年齢や国籍を問わずにお楽しみいただける施設です。

【満月の日限定のオンラインチケット販売中】

満月の日のみ使用できる、渦の道と大鳴門橋架橋記念館の共通券を、オンラインチケットで販売中！購入者特典として、限定ノベルティを大鳴門橋架橋記念館入館時に進呈。（満月の日は、8 月 20 日（火）、9 月 18 日（水）、10 月 17 日（木）、11 月 16 日（土）です）

〒 772-0053　鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 65
☎ 088-687-1330（大鳴門橋架橋記念館）

徳島県博物館協議会ニュース №76
令和 6 年 8 月 15 日 発行
編集・発行者
〒 770-8070
徳島市八万町向寺山　徳島県立博物館内
徳島県博物館協議会事務局
TEL 088-668-3636　FAX 088-668-7197

徳島県博物館協議会
8月　2024
NO. 76
ニュース

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成 8 年 2 月 27 日に設立されました。現在は 50 館で組織しています。

各加盟館の情報は、WEB 上では「徳島県博物館マップ」からご覧になれます。
（https://museum.bunmori.tokushima.jp/tokuhakukyo/default.htm）

活動報告

令和6年度総会・研修会

徳島県立博物館で開催

6 月 18 日（火）、徳島県立博物館講座室において、26 館から 30 人が参加し、令和 6 年度の総会を開催しました。議事として令和 5 年度の事業報告・決算報告・監査報告、令和 6 年度の事業計画案・会計予算案、「鳥居龍蔵記念　徳島歴史文化フォーラム」の後援について上程し、いずれも承認されました。

総会終了後、まず研修①では徳島県立博物館を視察し、鈴木佑弥主任学芸員による自然史コレクション「クモという生き物」の展示解説と、外村俊輔主任学芸員による県民コレクション「樋口コレクション：八万町のガのひみつ」の展示解説を、それぞれ 20 分ずつに分けて実施しました。続く研修②では徳島県立近代美術館を視察し、久米千裕学芸員による特別展「ユーモア　おかしみの表現に潜むもの」の展示解説を実施しました。

2024 年 6 月発行の新しい博物館マップを、総会後に各館に配布しました。このマップが有効に活用され、各館がより一層発展することを心から願っています。

総会の様子

研修会の様子

〒 770-8070　徳島市八万町向寺山　文化の森総合公園
☎ 088-668-3636（徳島県立博物館）

とくしま動物園 STELLA PRESCHOOL ANIMAL KINGDOM

園の紹介

3 月 12 日（火）、待望のキリン（オス・4 歳）が福山市立動物園からやってきました。「はっさく」は単独ではとても怖がりで、未だにお客さまのいるサバンナエリアには踏み出せていません。そろそろお嫁さんも迎えたいところなのですが、まずはお客さまの近くに出られるよう、「はっさく」ペースでトレーニングを続けています。タイミングがよければサバンナハウスからトレーニング中の「はっさく」をご覧になれますので、見かけたときはぜひ応援してください。

4 月 27 日（土）、ライオンの子ども（メス・1 頭）が生まれ、「サッシュ」と命名されました。母「ムーン」2 度目の出産です。とくしま動物園では 2022 年にライオンが 3 頭生まれ、うちオス 2 頭の移動が決まったので、次の繁殖を目指し 2024 年 1 月、父「レオ」とのペアリングを 2 年ぶりに再開しました。実はオスのうち 1 頭は、世間を騒がせた札幌市円山動物園の雌雄誤認ライオンの後釜としての移動だったのですが、1 月末に移動話が頓挫してしまい、あわててペアリングを中断せざをえなくなりました。その後、出産直前まで「ムーン」に妊娠の兆候が全くなかったので、赤ちゃんの誕生は超ビックリ！幸いなことに円山への移動話も復活し、7 月 9 日からは、午前中「サッシュ」と「ムーン」そして 2 つ年上の姉「モエル」の 3 頭がパドックに出ています（午後からは「レオ」と交代）。「サッシュ」のパドック探検を導く「モエル」と子どもたちを見守る「ムーン」のほほえましい様子を見に、ぜひご来園ください。

はっさく（オス・5 歳）

サッシュ（メス・3 か月）

〒 771-4267　徳島市渋野町入道 22-1
☎ 088-636-3215（とくしま動物園 STELLA PRESCHOOL ANIMAL KINGDOM）

情報コーナー

徳島県立文書館

第 69 回企画展「徳島が高知県だったころ」

明治 9 年から明治 13 年まで、徳島県（当時は名東県）は高知県に編入されていました。“高知県内の阿波国”だった数年間について、様々な資料を通して紹介します。

会　期：8 月 6 日（火）～ 10 月 27 日（日）
観覧料：無料

高知県土佐阿波両国図

第 70 回企画展「お役人様がやってきた！」

巡見や調査などの理由で徳島にやってくる幕府の役人や要人、そして村にやってくる藩の役人。訪問先はその準備と対応に苦慮します。資料を通して役人の来訪の様子を紹介します。

会　期：10 月 29 日（火）～令和 7 年 1 月 26 日（日）
観覧料：無料

〒 770-8070　徳島市八万町向寺山　文化の森総合公園
☎ 088-668-3700（徳島県立文書館）

阿南市立阿波公方・民俗資料館

常設展の展示解説を行います

当館では、今年度も常設展の展示解説を行います。各回で異なったテーマ解説も併せて行います。事前の予約は不要ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

開催日：10 月 12 日（土）：阿波公方と動物
　　12 月 7 日（土）：阿波公方とキリスト教
　　令和 7 年 2 月 8 日（土）：阿南市の戦国時代
時　間：10：00 ～ 11：00
　　（展示解説 30 分、テーマ解説 30 分）
入館料：200 円（中学生以下無料）
　　※ 20 人以上の団体は 100 円

〒 779-1234　阿南市那賀川町古津 339-1
☎ 0884-42-2966（阿南市立阿波公方・民俗資料館）

徳島県立文学書道館

文学特別展「太宰治　創作の舞台裏」

作家・太宰治（1909-48 年）は、自殺未遂や薬物中毒を繰り返すなど、自らも苦悩しながら数々の名作を残しました。今回の特別展には、「人間失格」、「斜陽」の原稿など、さまざまな資料を展示し、太宰治の文学がどのように生み出されていったのかを紹介します。

青森の生家・津島家についての資料や学生時代の同人誌、授業のノートなどから太宰のルーツに迫るとともに、21 歳の時の心中事件の資料も展示します。また、草稿や書き直し原稿、太宰作品に影響を与えた資料などを通して、作品発表までの変遷をたどります。晩年の代表作「人間失格」と「斜陽」は、草稿と完成稿を比較し、構想からどのように変化して作品になったかを見ます。

さらに、徳島県の剣山を舞台に鬼の前で阿波踊りを披露する「瘤取り」など、「お伽草子」の完全原稿（2019 年初公開）も展示します。

会　　期：8 月 10 日（土）～ 9 月 23 日（月・振休）
会　　場：1 階特別展示室　3 階収蔵展示室
休 館 日：月曜日（ただし 8/12、9/16、9/23 は開館、
　　9/17 は閉館）
時　　間：9：30 ～ 17：00
観 覧 料：一般 520（410）円
　　高校・大学生 360（290）円
　　小・中学生 260（200）円
　　（　　）内は 20 人以上の団体割引料金
　　高齢者（65 歳以上）は半額
　　各障がい者手帳をお持ちの方は半額
　　小・中・高校生は夏休みと土・日・祝日は無料
主　　催：徳島県立文学書道館
特別協力：日本近代文学館
編　　集：安藤　宏
後　　援：徳島新聞社・四国放送・NHK 徳島放送局

〒 770-0870 徳島市中前川町 2 丁目 22-1
☎ 088-625-7485（徳島県立文学書道館）

情報コーナー

あすたむらんど徳島子ども科学館

館の紹介

当館の展示は、「科学技術と自然環境の調和」を共通のテーマとして、「宇宙と地球」、「生命と環境」、「科学技術と人間」の 3 つのテーマで構成されています。

また、科学に親しみが持てるよう、可動装置や実験装置、実演などを多く取り入れ、直接触れ、操作しながら考えられる工夫をこらしています。

また、楽しいイベントを定期的に開催していますので、ぜひご参加ください。

第 51 回企画展「さいきょう妖怪サバイバル」

様々な生きもののパーツを集めて、オリジナルの「さいきょう」妖怪をつくろう！生きもののかたちの仕組みや役割を学べるよ！

会　期：7 月 13 日 (土) ～ 9 月 1 日 (日)
会　場：子ども科学館　特別展示室
休館日：7 月 17 日（水）・24 日（水）・31 日（水）
時　間：9：30 ～ 17：30（9 月 1 日は 16：30 まで）
観覧料：常設展示の観覧料
内　容：①君だけのさいきょう妖怪をつくろう
　　②妖怪解説ミニコーナー
　　③タッチングコーナー
　　「生きてる“さいきょう”動物園」
　　④出張工房「オリジナル妖怪をつくろう！」
　　⑤さいきょう妖怪と水遊び！
　　ウォーターシューティング（雨天中止）

〒 779-0111　板野郡板野町那東字キビガ谷 45-22
☎ 088-672-7111（あすたむらんど徳島子ども科学館）

川口ダム自然エネルギーミュージアム

Zoom ×オンライン授業「電気エネルギーの選択」

様々な発電のメリット・デメリットを学習し、エネルギーを選択するにあたり、何を大切にしたいかを考えてみませんか？

※オンライン会議アプリ「Zoom」を使用して、ご自宅から無料で参加できます。
※パソコン・スマホのどちらでも参加可能です。

期　日：9 月 16 日（月・祝）
時　間：13：00 ～ 15：00
定　員：先着 100 名
参加料：無料（通信費はご負担ください）
対　象：小学校 3 年生から一般まで
　　（インターネット環境のある方）
締　切：9 月 9 日（月）
申　込：当館ホームページの専用フォーム

木工体験

廃材やエネ・ミューの森で間伐された木を使ってアートを作ろう！

期　日：9 月 28 日（土）
時　間：13：00 ～ 15：00
定　員：20 名（申込多数の場合は抽選）
対　象：小学校 3 年生以上
参加料：無料
場　所：川口エネ・ミューの森
締　切：9 月 20 日（金）
申　込：電話（当館 0884-62-2209）

〒 771-5408　那賀郡那賀町吉野字イヤ谷 72-1
☎ 0884-62-2209（川口ダム自然エネルギーミュージアム）